

エコニュース さって



第 90 号
令和 6 年 8 月 30 日
さって市民環境ネット
TEL 48-0331

令和 5 年度 第 4 回幸手市民環境講座

令和 6 年 3 月 9 日(土)、幸手市南公民館会議室においてお二人の講師をお招きし参加者 22 名で第 4 回幸手市民環境講座が開催されました。

報告 : 宮田

第 1 部 食品ロスを減らそう

埼玉県環境部資源循環推進課 資源循環工場・
循環型社会推進担当 主事 鳴瀬 優氏

「食品ロス」

まだ食べることができるのに捨てられてしまう食品があります。それは製造や流通する過程で使うエネルギーや資源を無駄にするだけではなく、ごみにすることで回収運搬や焼却で多くの二酸化炭素を排出します。

SDGs は知っていますか？ 国連サミットでは「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」を採択。2030 年までに食品ロスを世界全体の 1 人当たりの食料の廃棄をさせる目標があり日本でも食品リサイクル法など、食品ロスの削減推進に関する法律が施行されています。

「日本での食品ロス発生量」

日本の食品ロス量
約 5 2 3 万 t /年 (令和 3 年度推計値)



世界全体の食糧援助量
約 4 2 0 万 t /年 (2019 年実績)

世界全体の食糧援助量の約 1.3 倍の食品ロスが発生しています。

個人が購入、調理後発生する**家庭系は約 2 4 4 万 t**、食品工場や外食産業から発生する**事業系は約 2 7 9 万 t**、と推計されています。

「私たちが出来ること」

家庭から出る食品ロスの多くは、①食べ残し(買いすぎ、作りすぎ)②直接廃棄(賞味期限切れなど)③過剰除去(調理前に捨てた部分)です。

買い物するときは、出かける前に冷蔵庫をチェックし、必要な商品と量を購入する。買いすぎは、使いきれず、賞味期限切れにもつながります。また直ぐに使う物は手前から取ることで事業系食品ロス削減にもつながります。調理する時も過剰に皮をむかず出来るだけホールフードとして使い切る、冷凍保存も上手に活用しましょう。

「ローリングストックの実践」

地震や台風などの災害に備えて普段の食品を買い置きして賞味期限順に消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定の食品が家庭で備蓄されます。

その他、埼玉県では家庭や職場で余っている食品を団体や個人へ寄付する「フードドライブ」を実施している窓口を紹介しています。

“買い物から、調理、片付けまで、食べ物を扱うすべての場面で「食品ロス」を減らすことを意識し、もったいないことはしないように心がけましょう。

第2部 省エネにつながる菜園づくり

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 理事

消費生活アドバイザー 大前万寿美氏

気候変動、気候危機、そして今、若者たちが気候正義の運動を展開

Fridays For Future Japan の若者たちの声「気候危機はすべての人が等しく原因となり、等しくその被害を受ける問題ではありません。例えば、大量の二酸化炭素を排出している一部の富裕層は、その二酸化炭素排出によって得た資金で災害が起きたときの対策を行います。しかし、貧困層の人々は、二酸化炭素排出にほとんど関わっていないにもかかわらず、気候危機によって激化した災害や、高騰した食料に苦しめられています。」

2024年2月6日の脱原発・脱炭素、再生可能エネルギー推進の国会請願活動で、14人の国会議員を前に、「自分たちだけが頑張っても気候正義は守れない。学校には仲間がいる、友達にも、政治家にも話していきたい！」と高校2年生がスピーチしました。

大人の責任、まずは省エネから

庭造りの知恵、できるだけエアコンに頼らない生活が理想、南側には落葉樹、北側には常緑樹を♡

涼しい家とは？（冷えた風を屋内に取り込むために緑で日陰をつくり地面を冷やす）

暖かい家とは？（日光を屋内に取り込む。北風を防ぐ。）

夏 庭に緑が多いと、窓から取り込む風は涼しい

鹿児島では、昔、南側の開口部の前にゴーヤとへちまの棚を仕立て、庭の地面を冷やし、屋内に涼しい空気を取り込む工夫をしてきました。我が家では、家の周りのコンクリート部分を冷やすことに重点を置いています。

例えば、カーポートに植木鉢を並べ両側面にゴーヤやへちまのカーテン、カーポートの屋根でカボチャを栽培しています。また、背の高くなる垣根で周辺道路のアスファルトに日陰をつくり、まち全体が冷えるような努力も必要です。

庭には、雑草のかわりに紫蘇を一面に栽培。トマトは防虫の必要がなく半日陰でも収穫できるのでお勧めです。

雨どいの水をためて、水やりで使用し、節水に努めています。



我が家のコンクリートを冷やす工夫

防虫剤・除草剤を使わない

ナメクジには、広口瓶にビールを入れておびき寄せ撃退。部分的な除草は熱湯消毒で。葉の裏につく小さな虫には、アルミシートで日光を下から反射させて寄せつけない対策を。

冬は、北側の常緑樹を大きめに仕立てて風を防ぎ、南側は日光の反射を利用

白のガーデンテーブル、植木鉢などで日光を反射させる。

南側の窓の外にアルミ板やアルミシートを広げ、反射光を家の中に取り込む工夫を。

温暖化対策と食糧難に備えて

・生け垣として栽培されているウコギ(中国原産のヒメウコギ)

上杉鷹山 「なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬ成りけり」

米沢では、春～初夏にかけて出た新芽を収穫し、食用とするのが一般的だが、鷹山の勧めで、ゆでて乾し、飢饉に備える保存食としました。

調理法は、和えものやおひたしをはじめ天ぷらやウコギご飯など、さまざま。独特の香気とほろ苦さが特徴。ビタミン、ミネラル、カルシウムの宝庫でもあるウコギの葉は、生活習慣病の原因とされる「活性酸素」を消去するポリフェノールなどの抗酸化物質も多く含まれていることから、健康食品としての注目度も大。食物繊維もごぼうに匹敵するくらい豊富で、糖尿病改善に役立つという効能も期待できるといわれています。

・かぼちゃの栽培

冬至に食するように、長期保存がきいて、カロリー、栄養価が高い。戦争中は各家庭の庭で、サツマイモやかぼちゃなど保存のきくカロリー高めの植物が栽培されていました。

・へちまの栽培

虫が付きにくく、ゴーヤ収穫のピークが過ぎても、へちまは収穫できます。皮をむけば、生でも、炒めもの、煮ものなど、とても美味しくいただけます。

緑のカーテン、食用だけでなく、プラスチックスponジの代替にへちまたわしを活用しましょう。



温暖化対策、食糧難に備え
カボチャ、ウコギ等

庭や窓で、マイソーラー発電をはじめましょう

ホームセンターなどで購入できる大きめのガーデンソーラーライトは、庭の防犯用だけでなく屋内でも活用してみましよう。どこでも持ち運びができるので、災害時に備えておくだけでなく、室内の常夜灯としても重宝します。

最近では、アウトドアグッズのソーラーパネルをリュックに取り付けて移動中に発電することもできます。

防災用品のソーラーラジオは、日常でもテレビの代わりに使用し、節電につなげることも可能です。すでに地球は限界を越えている！ことが知られていないのは問題です。

3・11を忘れず、次世代に地球をつなぐため、省エネ仲間を増やしていきましょう。

エコライフ DAY & WEEK 2024 宣言式の開催

報告：坂本

令和6年5月13日(月)、幸手市役所応接室にて、「エコライフ DAY & WEEK 2024 宣言式」が行われました。参集したのは木村純夫幸手市長、さて市民環境ネットのメンバーと環境課の職員です。

エコライフ DAY は、埼玉県が主体となって進め、県民みんなで環境のことを考えて行動する日のことです。県のホームページにあるエコライフ DAY チェックシートを使い、省エネ、省資源の生活を体験する1日です。実施の期間は、令和6年7月1日から9月30日までです。

対象者は、次のとおりです。①市内小中高生、その家族及び教職員。②事業所、各種団体の職員。③一般市民。④市役所職員。

参加する方法は、次の URL を入力するか、QR コードを読み込み、指示されるとおりお進みください。



幸手市長とさて市民環境ネットのメンバー市長の脇はアカザの杖を持つ久保田会長

木村市長からは、「カーボンニュートラルの実現に向けて、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減は、喫緊の課題です。幸手市全体の温室効果ガス発生量のうち、家庭部門からの排出量が約4分の1を占めています。今年も本事業を通して、少しでも多くの方々に地球温暖化に対する危機感を持っていただき、二酸化炭素削減のために取り組んでいただけるよう、切に願います。幸手市一丸となって、エコライフ DAY を推進して参りましょう。今年度目標は、参加者 1600 人（昨年度目標 1600 人）、二酸化炭素削減量

7,320kg（昨年度目標 1,392kg）としました。」という力強いコメントをいただきました。（写真提供：幸手市秘書課）

エコライフ DAY 参加



[https:// ecolife-saitama.jp](https://ecolife-saitama.jp)

【会員募集中！】環境保全活動を一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。[さて市民環境ネット]

★問合わせ先；

久保田 修 (代表) まで TEL 0480-42-1264

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく